資　料　5　　主な現有機材の稼動状況

作動状態
A…良好
B…一部機能につき故障しているが使用可
C…故障又は破損につき使用不能、修理依頼中
D…故障又は破損の為修理不能の状態にある

使用頻度
1…大変良く、効率的に使用している
2…必要に応じて度々使用している
3…予備の機材として時々使用する
4…めったに使用しない
5…全く使用しない

機材別保守管理体制
イ…病院維持管理工作室によるメンテナンス
ロ…代理店によるメンテナンス
ハ…メーカーによる保守契約
ニ…その他

計画対象部における主な現有機材の使用稼働状況

病理学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
冷蔵庫　　12台	(備考)	1	イ	インド	A-1台、B-2台、C-2台、D-7台、ｹﾙﾋﾞﾈｰﾀｰ社製
冷蔵庫	〃	1	イ	インド	A-1台D-1台、ｹﾙﾋﾞﾈｰﾀｰ社製
冷凍遠心分離器	B	2	ロ	ドイツ	ｼｬﾈｯｷ社製
ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ遠心分離器	B	2	イ	インド	
分光器	C	2	ロ	米　国	B & L社製
ウルトラミクロトム	C	5	ロ	ｽｪｰﾃﾞﾝ	LKB社製
ロータリーミクロトム	C	5	イ	インド	ｴﾙﾏ社製
血小核凝集測定装置	C	5	ロ	－	要修理
双眼顕微鏡　　12台	C	5	ロ	日　本	ｵﾘﾝﾊﾟｽ社製、要修理
双頭顕微鏡　　2台	B	2	ロ	日　本	ﾆｺﾝ社製
培養器	B	2	イ	インド	

微生物学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
冷蔵庫 -85°C	D	5	イ	米　国	ﾚﾌﾞｺ社製
〃　-70°C	D	5	イ	インド	ｸﾘｽﾌﾞｺｰﾙﾄﾞ社製
〃　-20°C	D	5	イ	インド	ｼﾞｪﾑ社製
〃　-20°C	A	1	イ	インド	ｹﾙﾋﾞﾈｰﾀｰ社製
超遠心分離器	D	5	イ	米　国	ﾍﾞｯｸﾏﾝ社製
低温遠心分離器	D	5	イ	米　国	IEC社製
〃	D	5	イ	インド	KLB社製
〃	C	5	イ	米　国	ﾍﾞｯｸﾏﾝ社製
〃	B	2	イ	インド	SICO社製
冷凍室 -4°C	A	1	イ	－	ﾍﾘｻﾝ社製
ラミナーフロー（水平型）	A	1	イ	インド	ｸﾚﾝｻﾞｲﾄﾞ社製
〃（縦型）　2台	A	1	イ	インド	ｳｨﾄﾞﾝｻｲｴﾝﾃｲﾌｨｯｸ社及び ｶﾙﾄｽｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ社
透過器	A	2	ハ	ﾌﾗﾝｽ	
炭酸ガス培養器　2台	A	1	ハ	米　国	ﾅﾌﾞｺ社製（米）、ﾍﾘｳｽ社製(ﾄﾞｲﾂ)
倒立顕微鏡　2台	A	2	ロ	米　国	米国製(ﾚｰﾁｬｰ社)はA, 日本製(ｵﾘﾝﾊﾞｽ社)はC
蛍光顕微鏡　2台	A	2	ロ	ドイツ	ドイツ製(ﾗｲﾂ社)はA 日本製(ｵﾘﾝﾊﾞｽ)はC, 1976年製造
立体顕微鏡	A	2	ロ	米　国	
暗視野顕微鏡	C	4	ロ	日　本	ｵﾘﾝﾊﾞｽ社製、要修理

腎臓学科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
血液透析装置	A	1	ロ	米　国	ｺｰﾌﾞ･ｾﾝﾁｭﾘｰ社製
〃	C	4	ロ	日　本	日機製社製
〃	D	5	ロ	米　国	ｺｰﾌﾞ･ｾﾝﾁｭﾘｰ社製
培養器	A	2	イ	インド	YORKO社製
冷凍庫	A	1	イ	インド	
血液ガス分析器	C	4	ハ	米　国	ｺｰﾆﾝｸﾞ社製、スペアパーツなし
心臓除細動器	D	5	イ	－	
浸透圧計	C	4	イ	米　国	FISKE社製、スペアパーツなし
炎光分光光度計	A	2	イ	米　国	ｺｰﾆﾝｸﾞ社製
双眼顕微鏡	A	2	イ	インド	

心臓学科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
心電計	A	2	イ	インド	BPL社製　13台　新品或は修理歴あり
患者監視装置	A	1	ロ	インド	INDICHEM社製　新品
心臓除細動装置	A	2	イ	インド	BPL社製
ドプラー超音波診断装置	A	1	ハ	日　本	ﾌﾛｶ社製
トレッドミル	A	1	ハ	米　国	ﾏﾙｹｯﾄ社製
ホルター記録計	A	1	ハ	米　国	〃

形成外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
手術用顕微鏡	A	2	ロ	－	
手術台	B	2	イ	インド	ｺｸﾞﾈｯﾄ社製
無影灯	B	2	イ	〃	〃
可動型手術灯	A	2	イ	ｵﾗﾝﾀﾞ	ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ社製

神経外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
手術台	B	2	イ	－	
無影灯	B	2	イ	－	
麻酔器	B	2	イ	－	

心臓胸部外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
心臓血管監視装置	B	2	ハ	米　国	ｴﾌｫｰﾑ社製
〃	D	5	ハ	〃	〃
〃	B	2	ハ	－	ﾃﾞｰﾀﾒﾃﾞｨｸｽ社製
血液ガス分析装置	D	5	イ	ドイツ	ｱｲｼｭﾜｲﾗｰ社製
心臓除細動装置	B	2	イ	米　国	
人工心肺	B	2	ハ	米　国	
人工呼吸器	A	2	ハ	英　国	ﾏﾝﾘｰ社製
手術台	B	2	イ	－	
無影灯	B	2	イ	－	
肺活量計　　2台	A	2	イ	インド	

泌尿器外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
膀胱鏡	B	2	イ	ドイツ	ｽﾄｰｽﾞ社製
切除鏡　成人用	B	2	イ	ドイツ	〃
〃　　小児用	B	2	イ	ドイツ	〃
結石摘出器	B	2	イ	ドイツ	〃
手術台	B	2	イ	－	一般手術台
無影灯	B	2	イ	－	
ﾃﾚｽｺｰﾌﾟ 0°　30°　70°　120°	B	2	イ	－	
分光光度計	C	5	イ	－	
尿流量計	C	5	イ	－	

小児外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
多チャンネル記録計	A	2	ハ	米　国	ﾌｲｼﾞｵｺﾝﾄﾛｰﾙ社製
酸素飽和度計	A	2	ハ	日　本	ｵﾒｶﾞ社製
人工呼吸器　小児用	A	2	ハ	米　国	ｾｸﾘｽﾄ社製
小児用膀胱切除鏡	A	2	ハ	ドイツ	ｽﾄｰｽﾞ社製
手術用電気メス	A	2	イ	米　国	ﾍﾞﾚｰﾗﾌﾞ社製
手術台	A	2	イ	－	
無影灯	A	2	イ	－	
心臓除細動装置	A	2	イ	インド	BPL社
幼児手術一般器具	B	2	イ	インド	
経皮溶存酸度計	A	2	ハ	ﾃﾞﾝﾏｰｸ	ﾗｼﾞｵﾒｰﾀｰ社製
麻酔器	A	2	ハ	－	

救急外科

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
手術台	B	2	イ	インド	ｴｽﾗｰ社製
無影灯	B	2	イ	インド	ｱﾙｺ社製
麻酔器	A	2	イ	インド	ｳﾙﾄﾗﾃﾞﾝﾄ社製
手術用電気メス	B	2	イ	ｵﾗﾝﾀﾞ	ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ社製
吸引器	A	2	イ	インド	ﾒﾃﾞｨｰｽﾍﾟｯｸ社製
可動型手術灯	A	2	イ	－	

産婦人科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
腹腔鏡	C	4	イ	米　国	20年前の製品である　クリ社製
膣拡大鏡	C	4	イ	ドイツ	ｶｰﾙﾂｱｲｽ社製 22年前の製品である
分娩監視装置	B	2	イ	米　国	ﾋｭｰﾚｯﾄ･ﾊﾟｯｶｰ社製
胎児心拍検出装置	C	4	イ	インド	ｴﾚｸﾄﾛﾆｯｸ･ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ製 15年前の製品である
吸引分娩器	B	2	イ	米　国	ﾊﾟｰｸﾚｰ社製
手術用電気メス	B	2	イ	米　国	ﾊﾞｰﾚｰ･ﾗﾎﾞ社製
凍結外科機材	C	4	イ	インド	ﾌﾟﾘﾝｽ社製

麻酔科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
麻酔器　　2台	A	1	ハ	－	ﾎｲｰﾙ社製
酸素飽和時計	A	2	ハ	－	ｵｰﾒﾀﾞ社製
心臓除細動装置	A	3	ハ	インド	BPL社製
心電計	B	1	ハ	インド	BPL社製
抹消神経刺激装置	A	1	イ	－	ﾊﾗｰﾌ社製
血液ガス分析装置	D	5	ハ	ｵﾗﾝﾀﾞ	ﾗｼﾞｵﾒｰﾀ社製
炎光分光光度計	D	5	イ	－	
人工呼吸器　　2台	B	2	イ	英　国	ﾏﾝﾘｰ社製　1台故障

放射線科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
X線装置(500mA)	B	2	ハ	インド	I.G.E.社製
X線装置(300mA)	B	2	ハ	インド	I.G.E.社製
X線装置(300mA)	A	2	ハ	米　国	G.E.社製
X線装置(200mA)	B	2	ハ	インド	I.G.E.社製
X線装置(725/300mA)	A	2	ハ	インド	I.G.E.社製
胸部X線装置(100mA)	A	2	ハ	インド	I.G.E.社製
60mA可動型X線装置(3台)	A	2	ハ	－	
超音波診断装置	A	1	ハ	ドイツ	保証期間　ｼｰﾒﾝｽ社製
頭部C.T.スキャナー	A	2	ハ	日　本	日立

眼科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
手術用顕微鏡(TVﾓﾆﾀｰ付)	A	2	ニ	－	
眼底カメラ	B	2	ニ	日　本	興和、修理歴あり
超音波診断装置	B	2	ニ	－	
スリットランプ	B	2	ニ	インド	ジャギ社製
角膜計	D	5	ニ	インド	ジャギ社製
手術台	B	2	イ	－	
無影灯	A	2	イ	－	
麻酔器	A	2	イ	－	
可動型手術灯	A	2	イ	－	

小児科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
分光光度計	B	2	イ	ドイツ	ｶｰﾙ･ﾂｱｲｽ社製　ｵｰﾊﾞｰﾙの要あり
冷凍遠心分離器	A	2	イ	インド	ﾚﾐ社
ガンマーカウンター	C	4	イ	ｵﾗﾝﾀﾞ	
炎光光度計	B	2	イ	インド	ﾒﾃﾞｨﾌﾚｰﾑ社製
比色計　3台	C	4	イ	－	3台のうち2台が修理不能
イオン交換器	D	5	イ	－	
炭酸ガス培養器	D	5	イ	－	
蒸留装置	D	5	イ	－	ｻｲｴﾝﾄﾘｯｸ･ｲﾝｽﾄﾙｰﾒﾝﾄ社製
冷蔵庫　3台	D	5	イ	－	
冷凍庫　3台	D	5	イ	－	
双眼顕微鏡	B	2	イ	－	
新生児処置台	D	5	イ	－	温度調節器が働かない
光線治療器	D	5	イ	－	WHOの供興

整形外科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
診断用関節鏡	B	2	イ	ドイツ	
蛍光顕微鏡	B	2	ロ	－	
超短波メス	B	2	ロ	ｵﾗﾝﾀﾞ	ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ社製
画像処理装置	D	5	イ	－	
整形外科用手術台	B	1	ロ	－	
無影灯	B	1	イ	－	
麻酔器	B	1	イ	－	

耳鼻咽喉学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
手術用顕微鏡	B	2	イ	ポーランド	
〃	D	4	イ	インド	
聴力検査装置	B	1	イ	イタリア	アンプライド社製
光ファイバー気管支鏡	B	2	イ	ドイツ	M.L.W.社製
光ファイバー咽頭鏡	A	2	イ	インド	
凍結外科器具	A	2	イ	インド	アスコン社製
手術台	A	2	イ	インド	エスラー社製
無影灯	B	2	イ	インド	U.P.L.社製
麻酔器	B	2	ハ	インド	I.O.L.社製

放射線治療学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
コバルト60照射器	A	1	ハ	カナダ	修理経歴あり　AECL社製
線量計	A	2	イ	―	
体腔内治療装置	A	2	ハ	オランダ	ニュクリアトロン社製
回転式コバルト照射器	B	2	ハ	カナダ	ガメックス社
可動型X線装置	A	2	ハ	―	
治療計画装置	A	2	ハ	インド	DSG社製
体腔内治療装置	A	2	ハ	インド	エルプロ インターナショナル社製

歯科外科学部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
歯科治療ユニット　3台	B	1	イ	インド	コンフィデント社製
歯科用レントゲン装置	B	2	ハ	チェコスロバキア	他に使用不能の装置(フィリップス社製)が2台ある
鋳造機　3台	B	2	イ	イタリア	ガルニー社製
熔融炉	B	2	イ	イタリア	〃
アクリル器	B	2	イ	インド	コンデント社製
旋盤	D	5	イ	日　本	
滅菌器	C	5	イ	―	
吸引器	D	5	イ	―	

維持管理工作室

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
オシロスコープ　2台	B	2	イ	インド	
巻線機　2台	A	2	イ	インド	
デジタル多目的計測器	B	2	イ	インド	
直流電源　3台	B	2	イ	インド	
旋盤	B	2	イ	インド	ﾏｲｿｰﾙ･ｶﾛｽｶｰ社製
ラジアルボール盤	B	2	イ	インド	ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ ｴﾝｼﾞﾆﾔﾘﾝｸﾞ社製
グラインダー	B	2	イ	インド	
電動鋸	B	2	イ	インド	ﾊﾛｰﾀﾞ社製
ガラス研削機	B	2	イ	インド	
ガラス切断機	B	2	イ	インド	
コンプレッサー	B	2	イ	インド	
重量計	A	2	イ	インド	

血液銀行

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
低温冷凍庫	A	1	ハ	インド	ｸﾘｽﾌﾞｺｰﾙﾄﾞ社製
冷凍庫　3台	A	1	イ	インド	〃
遠心分離器	A	2	イ	インド	ﾚﾐ社製
恒温槽	A	1	イ	インド	ｻｲｴﾝﾄﾛﾆｯｸ社製

中央材料部

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
滅菌装置　4台	B	1	イ	インド	N.S.E.社製 4台のうち2台修理中
手袋洗浄器	A	1	イ	インド	N.S.E.社製
手袋乾燥器	A	1	イ	インド	〃
蒸留装置	C	4	イ	インド	〃
ミシン	B	2	イ	インド	ｳｼﾔ社製

ランドリー

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
カレンダー機	C	5	ロ	インド	ｽﾉｳﾎﾜｲﾄ社製
脱水装置　3台	A	1	ロ	インド	〃　1台は故障
洗濯機　3台	A	1	ロ	インド	〃　〃
プレス機　4台	C	5	ロ	インド	〃　4台とも故障
乾燥機　2台	A	1	ロ	インド	〃　1台は故障
漂白機	C	5	ロ	インド	〃
ミシン　2台	B	2	ロ	インド	ｳｼﾔ社製
ボイラー　2台	B	1	ロ	インド	ﾜﾝｿﾝ・ﾍﾞﾎﾞﾗｸｽ社製　1台は要修理

中央臨床検査室

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
血小板カウンター	B	2	ハ	日　本	ｴﾙﾏ社製
セルカウンター　2台	B	2	ハ	日　本	〃
ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ遠心分離器	A	2	ハ	インド	ﾚﾐ社製
培養器	A	2	ハ	インド	ﾖﾙｺ社製
顕微鏡　3台	A	2	ロ	ドイツ	ｶｰﾙ・ﾂｱｲｽ社製
比色計	A	2	ロ	インド	
自動化学分析装置	A	2	ハ	ｲﾀﾘｱ	ﾎﾟﾘﾏｯｸｽ社製
自動化学分析装置用コンピューター	A	2	ハ	ｲﾀﾘｱ	〃
カリウム分析機	A	2	ハ	ﾃﾞﾝﾏｰｸ	
試薬用冷蔵庫	A	1	ハ	インド	GEM社製
分光比色計	C	2	ハ	インド	ｼｽﾄﾛﾆｯｸ社製
塩素計	A	2	ハ	インド	ｴﾘｺ社製

看護学校

機　　材	作動状態	使用頻度	保守管理体制	製造国	備　　考
人体骨格模型	B	1	イ	－	
成人ｻｲｽﾞ人形模型(女性)	B	1	イ	－	
保育器	B	1	イ	－	
産科研修キット	B	1	イ	－	

資　料　6　　インド国の一般国情

			調査年度
1. 人口総数	合計	843,931,000人	1991
	男性	437,598,000人	
	女性	406,333,000人	
2.10年間の成長率		23.50%	1981~1991
3.男女比		923人	1991
(男性1,000人に対する女性の人数)			
4.調査上1km²ごとに		3,287,300	1981
分けた区域の数			
5.1km²当たりの人口密度		267人	1991
6.全体のうち都市部に		23.31%	1981
おける人口の割合			
7.「地区」の数		429	1991
8.「町」の数		3,949	1981
9.「開発区」の数		5,011	1980~1981
10.「村(居住者がいる)」の数		557,137	1981
11.年齢層別分布	0~14	42%	1971
		39.6%	1981
	15~59	52%	1971
		53.9%	1981
	60+	6%	1971
		6.5%	1981
12.出生率		30.5%	1989
13.死亡率		10.2%	1989
14.自然成長率		20.3%	1989
15.幼児死亡率		91%	1989
16.平均寿命	合計	58.6歳	1986~1991
	男性	58.1歳	
	女性	59.1歳	
17.医科大学		128	1989~1990
18.病院数／ベット数	国公立	4,732 / 439,047	1991
	個人	6,522 / 180,386	
	合計	11,254 / 619,433	
19.医療施設当たりの人口		10,269～376,500人	1991
20.1ベット当たりの人口		286~2,874人	1991

21.人口1,000人当たりの ベット数		0.74	1991
22.			
23.サブセンター		130,960	
24.コミュニティー ヘルスセンター		1,916	1991
25.医師数		365,000人	1990
26.看護婦数		264,504人	1989
27.国民総生産		392,524 (1千万ルピー)	1991
		195,237 (1千万ルピー)	1980~1981
28.国内総生産		4,252.4 (ルピー)	1991
		2,142.1 (ルピー)	1980~1981
29.厚生に対する支出 (福利・水の供給・その他)		3,656,2 (1千万ルピー)	1991
30.支出のうち厚生・ 福利の占める割合	厚生	60.61%	1987~1988
	福利	8.17	
31.宗教別人口構成	ヒンズー教	82.7%	
	イスラム教	11.2%	
	キリスト教	2.6%	
	シーク教	1.9%	
	その他	1.6%	
35.識字率	全人口	52.11%	1991
	男性	63.86%	
	女性	39.42%	
	地方	29.65%	1981
	都市部	57.40%	
36.初等教育の就学率		99%	1980~1990
37.就職率	全人口	33.45%	
	男性	51.62%	
	女性	13.99%	
	地方	34.76%	
	都市	29.23%	
38.貧困層者の比率	地方	33.4%	
	インド全体	29.9%	

概	面積	3,287,263㎢	(日本の約9倍)
	人口	(89年) 81,181.7万人	人口密度247.0人/㎢
	首都	ニューデリー(New Delhi)	人口622万人(87年)
	主要都市	カルカッタ, ボンベイ, マドラス, ハイデラバード	
	主要民族	(インド人は大別してインド・アーリア族, スキト・ドラビダ族など7種族に分類されるが, それらを判然と識別することは困難。)	
	主要言語	(ヒンディー語が連邦公用語だが, その他に憲法で14の言語を州において使用することが認められている。)	
	主要宗教	(ヒンズー教82.6%, イスラム教11.4%, キリスト教2.4%, シーク教2%)	
政治	政体	共和制(連邦制)	
	元首	ラマスワーミー・ベンカタラマン大統領	
	首相	チャンドラ・シェカール首相	
	議会	二院制(上院245議席, 下院545議席)	
	主な政党	【与党】ジャナタ・ダル党	
		【野党】コングレス党, インド・ジャナタ党,	
	国際関係・主な加盟国際機関	非同盟と善隣友好。SAARC 加盟。 ソ連と友好条約を結んでいるが米欧諸国とも緊密。 国連はじめほとんどの国際機関に加盟。 外交関係を有する国150カ国。	
	領海	12カイリ	経済水域200カイリ
経済	国民総生産(GNP)	(89年) 2,873.8億ドル	経済成長率 4.9%(87~89年)
	1人当たりGNP	(89年) 350ドル	年平均増加率
	消費者物価上昇率	(89年) 8.8%	会計年度 4月1日~3月31日
	計画・重点政策など	第7次経済開発5カ年計画(86~92年)実施中。 生活水準の引上げ, 失業問題, 物価安定, 地域主義台頭に伴う分裂問題, 国際収支の改善, 産業稼働率の改善など。	
	通貨単位	ルピー(Rupee)Rs または I. Rs = 100Paise	
	為替レート	1米ドル≒17.869ルピー	(90年9月現在)
	主要産業	農業(小麦, コメ, 砂糖, 綿花, 紅茶) 鉱業, 工業(石炭, 鉄鉱石)	
	主要天然資源	石炭, 鉄鉱石	
	エネルギー		
		1人当たりエネルギー消費量 199kg	
保健	年間人口増加率	(88年) 2.2%	出生率32人 死亡率11人
	乳児死亡率(0~1歳)	(88年) 98人	幼児死亡率(0~5歳) 149人
	出生児平均余命	(88年) 58歳	
教育	教育制度		義務教育年限5年
	教育程度 初等教育	学校数 54万校 生徒数 8,640万人	就学率 93.09%(86年)
	中等教育	〃 13万校 〃 2,810万人	進学率 52.01%
	高等教育	〃 66,110校 〃 1,510万人	〃 32 %
	成人識字率	(85年) 男性57% 女性29%	
マスコミ	主要新聞	「インディアン・エクスプレス」「タイムズ・オブ・インディアン」「ヒンドゥー」	
	放送関係	ラジオ, テレビは国営の All India Radio 及び Doordarshan が運営	
国防	国防予算	(88年) 84億ドル	
		対国家予算比27.6%, 対GNP比3.8%, 国民1人当たり国防費10ドル(88年)	
	兵力 陸軍	110万人。戦車3,150両	
	海軍	4.7万人。潜水艦17隻, 空母2隻, 作戦機28機	
	空軍	11万人。作戦機836機	
	準軍隊など	国境警備隊9万人, 中央予備警察隊9万人, アッサム銃器部隊4万人ほか	
	兵役制度	志願制	
	国際同盟関係など	印ソ平和友好条約, インド・バングラディシュ友好・協力・平和条約。モルジブ, ナミビア, スリランカに派兵	

貿易額(1987/88年)

(単位：百万ドル) ( )はシェアー：%

	輸出		輸入	
	総額		総額	
主要相手国(上位5)	アメリカ	2,380(18.47)	西ドイツ	1,923(9.73)
	ソ連	1,614(12.52)	日本	1,870(9.46)
	日本	1,322(10.26)	アメリカ	1,787(9.04)
	西ドイツ	869(6.74)	イギリス	1,600(8.09)
	イギリス	845(6.56)	ベルギー	1,240(6.27)
主要品目別(上位5)	宝石	2,015(16.6)	資本財	4,846(28.1)
	衣料品	1,483(12.2)	石油	2,395(13.9)
	織物	1,382(11.4)	宝石	1,538(8.9)
	エンジニアリング製品	1,105(9.1)	鉄鋼	982(5.7)
	皮革・同製品	886(7.3)	石油製品	753(4.4)

貿易額の推移

(単位：百万ドル)

	1986年	1987年	1988年	1989年
輸出	9,499	11,375	13,313	15,821
輸入	15,406	16,724	19,168	20,440

産業別労働者人口(1985年)

農業	15,302万人	商業	1,217万人
鉱業	126万人	行政・防衛	1,856万人
製造業	2,514万人	建設業	357万人

労働人口 (81年) 24,460万人　失業率 (84年) 7.3%

日本との関係

外交関係樹立年月	1952年4月28日承認, 1952年8月27日(日印平和条約)
在外公館	日本から：大1, 総領3　日本へ：大1, 総領1
主要友好団体	日印協会, 日印友好議員連盟
日本の進出企業	(86年) 約50社
在留邦人数	(89年) 1,292人
在日人数	(88年) 2,730人(うち留学生131人)
日本人学校所在地	〔全日制日本人学校〕3校(ニューデリー, カルカッタ, ボンベイ)
〃	〔日本語補習授業校〕1校(マドラス)
経済協力(ODA)	(89年) 総額257.2百万ドル, うち無償24.6百万ドル
民間投資	(85年) 直接投資12.7百万ドル 85年末累計91.4百万ドル
調査団・専門家派遣	(89年) 112人　89年末累計 830人
協力隊の派遣	89年末累計 131人
研修員の受入	(89年) 86人　89年末累計2,057人
日本との時差	−3時間30分　GMT＋5時間30分

日本との貿易額〔品目別〕(1989年)

(単位：百万ドル) ( )はシェアー：%

日本からの輸出品目	金額	日本への輸入品目	金額
一般機械	486.3(24.1)	ダイヤモンド	600.6(30.4)
電気機械	484.6(24.0)	鉄鉱石	499.5(25.3)
金属品	348.5(17.3)	食料品	295.2(14.9)
軽工業品	209.1(10.4)	うちエビ	208.5(10.5)
輸送機械	179.0(8.9)	繊維製品	134.6(6.8)

日本との貿易額の推移

(単位：百万ドル)

	1986年	1987年	1988年	1989年
日本から輸出	2,099	1,957	2,082	2,018
日本への輸入	1,297	1,530	1,804	1,978

JICA